

チャペル週報

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。
人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、
その人は豊かに実を結ぶ。
わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。
(ヨハネによる福音書 15:5)



2006 6 26 ~ 6.30 No.11
関西学院宗教センター

チャペル・スケジュール

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

- 6月26日(月) 神 威 美 羅 (B4)
経 古 谷 桂 信 (カメラマン)
-
- 6月27日(火) 院 樋 口 進 (宗教センター宗教主事)
神 永 倉 直 嗣 (M1)
社 大切なこと 小西加保留
文)
法) 文・法・経・商学部合同チャペル
経) アナ・ペレス(コナビグア地域担当リーダー) 於 中央講堂
商)
総 本 田 盛 (総合政策学部教授)
-
- 6月28日(水) 神 木 村 仁 (法学部教授)
社 大切なこと 山本剛郎 (社会学部教授)
法 Christian M. Hermansen (宣教師)
経) 経済・商学部合同音楽チャペル
商) 高橋明子氏によるパイプオルガン演奏 於 ランバス記念礼拝堂
理 賛美のための音楽礼拝 理工学部アンサンブル
総 理工学部ハンドベルと総合政策学部聖歌隊による讃美礼拝
-
- 6月29日(木) 神 白 井 進 (神戸栄光教会牧師)
文 Christian M. Hermansen (宣教師)
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
商 English Chapel Richard Stinson (宣教師)
総 村 田 俊 一 (総合政策学部教授)
-
- 6月30日(金) 神 李 殷 相 (M1)
文 English Chapel Thomas G. Rice (文学部英語講師)
社 大切なこと 岡田弥生 (社会学部教授)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
商 樋 口 進 (宗教センター宗教主事)
理 「揺れる想い」松木真一 (宗教主事)
-

ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:00~8:20 於:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
6月30日(金) 高等部のために 芝川又美
総合政策学部早天祈祷会 毎水曜日 午前8:40~ 於 I号館312教室

見えないものに目を注ぐ

岡 田 弥 生

上ヶ原キャンパスの中心に位置する中央芝生。今は新入生の明るい声が満ちて活気を帯びている。学院史によると、37年前ここで大学紛争を收拾すべく5000人の学生、教職員が集ってキャンパス解放集会が開催された。その在りし日に想いを馳せる。紛争の渦中で切り倒されたヒマラヤ杉に代わって新たなヒマラヤ杉が植えられた。教員・職員・学生が神から委託を受けてそれぞれの役割を担っているとする「協同社会」を目指す大学改革を誓って新たな歩みが始まった。そして今学院は2008年度に向けて大きく変わろうとしている。テレビのニュースを通して学院の動きを知るような慌しい事態である。確かに時代の要請に応えた変革は必要であるかもしれない。しかし果たしてこの学院がどうなっていくのか全容がつかめぬまま変化に巻き込まれていく不安をも覚えざるをえない。

振り返って学院は変わらないものに目を注いで様々な変化に対応してきた。天地万物の創造主を拝し、その真実に応える人間の真実としてのMastery for Serviceの精神を育んできた。そして機械論的因果連関で現実を問うのみではなくその背後にある愛、心、真実といった形而上学的な理念を尊重する教育を希求し、人間の実存性そのものへの問いかけを続けてきた。僭越ながら、制度上の大きな転機を迎えんとする今こそもう一度教員・職員・学生が本学の拠って立つ理念を確認する必要があるのではないかと思う。それはまさしく学院に奉職して10年目を迎える私自身にとっての課題でもある。願わくば、忙しさの中に祈りの言葉さえ枯渇する時にも、「昨日も今日も、また永遠に変わることはない方」(ヘブル13:8)を仰ぐことができますように、そしてこの小さきものにも、変革期に現実を担う愛と勇気が与えられますことを祈り求める日々です。

『私たちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです』(IIコリント4:18)

(社会学部教授)

吉岡記念館 連続写真展

吉岡記念館 1階ラウンジで『この時代を生きる』をテーマに4人の写真家の作品展及び講演会を行っています。普段、新聞・テレビが伝えないビルマ、グアテマラ、フィリピン、チベットの人々を困難に置かれた側から生き生きと伝えています。皆様に、今、生きている世界を見る目を持っていただきたいと願っています。

6月26日(月)午後～30日(金) 中井信介氏 フィリピン

「フィリピンの人々」

講演会：6月27日(火)15:10～16:40

7月3日(月)午後～7日(金) 兵頭千夏氏 チベット

「チベット・カイラス巡礼」

講演会：7月4日(火)15:10～16:40

神戸三田キャンパスチャペルオルガニスト募集中

理工学部と総合政策学部の学生チャペル・オルガニストを募集しています。

リーフレット、募集要項、応募用紙は神戸三田キャンパス事務室(号館キャンパス担当)にあります。詳細は、吉岡記念館事務室宗教センターでお尋ねください。(0798-54-6018)

また、募集要項、応募用紙は関西学院宗教センターホームページからダウンロードできます。

http://www.kwansei.ac.jp/christian_center/

第169回ランバス演奏会

リコーダー・アンサンブル「レアール」リサイタル

本学吹奏楽部の卒業生が中心となって結成されたアンサンブルです。

プロの演奏家を迎えて、常にレベルの高い演奏を目指しています。

とき：6月27日(火) 午後5時開場 5時30分開演

ところ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原) <入場無料>

聖書の植物(6) アカシヤ

マメ科アカシヤ属の木で、非常に多くの種類があり、普通直径40～50cm、樹高5～10mに至ります。鋭いとげがあり、自らを防御しています。シナイ半島やエジプト、死海やその南方の荒れ野に生育し、乾燥した荒れ野に枝を広げ、旅行者には憩いの木陰を与えてくれます。葉は羽状複葉で、春先に黄色い花をつけ芳香を放ちます。丸まったねじれた鞘の中に丸い種子があります。街路樹などで一般にアカシヤと呼ばれているものは別の種類でニセアカシヤ(ハリエンジュ)と言います。

材はオレンジ色で、堅く重く、病虫害に強く腐朽しないので、幕屋や契約の箱の材料とされました(出25:5,10)。エジプトでは、アカシヤは永世の象徴とされ、ミイラの棺にも用いられました。

旧約聖書には28回ほど言及されますが、単数(シッター)で出るのは1回のみで(イザヤ41:19)、あとはすべて複数(シティム)です。シティムは地名でも出ますが(ヨシュア2:1)、アカシヤの生育と関連があったのでしょうか。

木から出るガムは水にとかして目の病などの薬用に、乾燥して粉末にした木の皮は傷の消毒薬に、種子はそのまままたは粉にして下痢止めにされました。